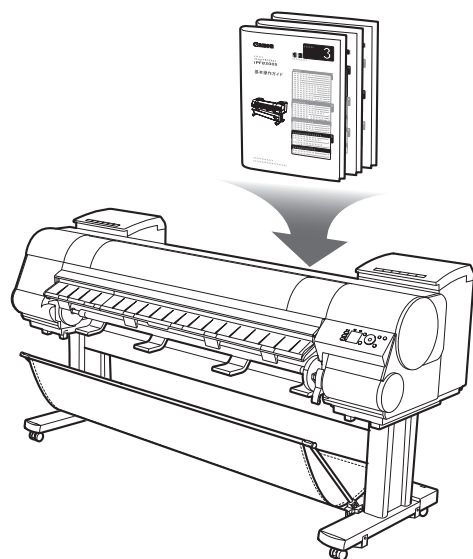
Canon

大判プリンタ
imagePROGRAF
iPF8300S

基本操作ガイド

次の電子マニュアルもあわせてお読みください。
・ユーザーズガイド
・用紙リファレンスガイド

1 2 3

プリンタを運ぶときには
ソフトウェアインストール

基本操作ガイドは、3 冊構成です。
必ず 1 本体操作ガイドの「安全にお使いいただくために」をお読みください。

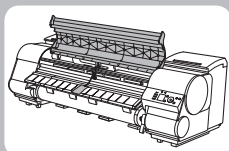
本体操作 1

困ったときには 2

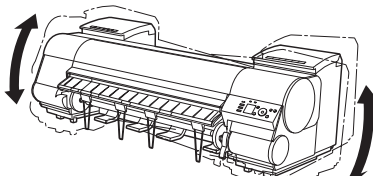
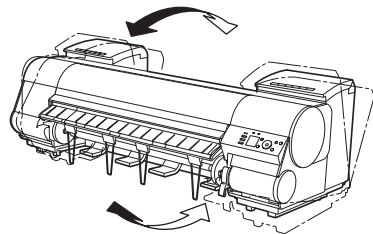
プリンタを運ぶときには 3

ソフトウェアインストール

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

プリンタの輸送の準備をする

ここでは、プリンタの輸送の準備について説明します。

プリンタを輸送する場合は、内部機構を保護するために、必ず、輸送の前に以下の手順を行ってください。プリンタの梱包作業、輸送後の設置作業については、セットアップガイドを参照してください。

重要

- プリンタを輸送する場合は、必ずキヤノンお客様相談センターへご連絡ください。適切な対応を行わずにプリンタ本体を傾けたり立てたりすると、内部のインクが漏れ出し、故障の原因になります。
- [ディスプレイ] にメンテナンスカートリッジの交換または残り容量の確認を指示するメッセージが表示されている場合は、輸送の準備はできません。メンテナンスカートリッジを交換してから、輸送の準備をしてください。（→1 メンテナンスカートリッジを交換する）

メモ

- 輸送の準備時（輸送準備のためのメニュー実行時）に、プリンタの状態によっては、部品交換が必要な場合があります。
- 以下の表のレベル２またはレベル３の輸送を行う場合、インク抜きの処理が行われます。事前にメンテナンスカートリッジを準備してください。
- 以下の表のレベル３の輸送を行う場合は、必ず担当サービスの指示に従ってください。

レベル	輸送形態（例）	傾け許容角度	廃インク量	必要なメンテナンスカートリッジ（*1）
1	トラックによる輸送	長手方向:0°～30° 回転方向:0°～10°	0	0または1
2	飛行機による輸送	全方向:0°～30°	約1200ml	1または2
3	エレベータや階段で傾けたり立てて行う輸送	長手方向:0°～90° 回転方向:0°～30°	約1200ml	1または2

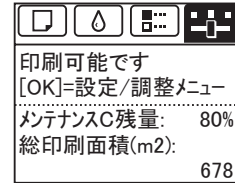
*1:必要なメンテナンスカートリッジの個数は、使用中のメンテナンスカートリッジの容量により異なります。

用紙を取り外す

1 用紙を取り外します。
ロール紙の場合（→1ロール紙をプリンタから取り外す）
カット紙の場合（→1カット紙を取り外す）

[移動の準備]のメニューを選択する

1 [操作パネル] の [タブ選択画面] で [◀] キー、[▶] キーを押して （[設定 / 調整タブ]）を選択します。

印刷可能です
[OK]=設定/調整ﾒﾆｭｰ
ﾒﾝﾃﾅﾝｽC残量: 80%
総印刷面積(m2):
678

メモ
• [タブ選択画面] が表示されていない場合は、[メニュー] キーを押します。

2 [OK] キーを押します。
[設定 / 調整ﾒﾆｭｰ] が表示されます。

3 [▲] キー、[▼] キーを押して [移動の準備] を選択し、[OK] キーを押します。

4 [▲] キー、[▼] キーを押して輸送のレベルを選択し、[OK] キーを押します。

5 [▲] キー、[▼] キーを押して [実行する] を選択し、[OK] キーを押すと、実行確認画面が表示されます。

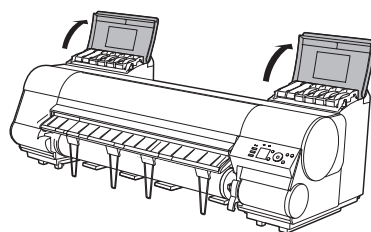
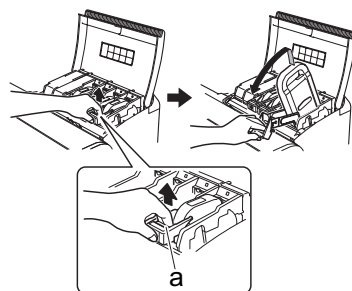
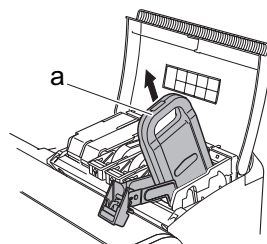
6 [▲] キー、[▼] キーを押して [する] を選択し、[OK] キーを押します。
本体輸送の準備が開始されます。

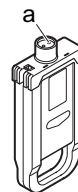
• [ﾚﾍﾞﾙ 1] の場合
準備が完了すると、[ディスプレイ] に電源をオフにするメッセージが表示されます。
電源をオフにし、プリンタを梱包してください。インクタンクを取り出す必要はありません。

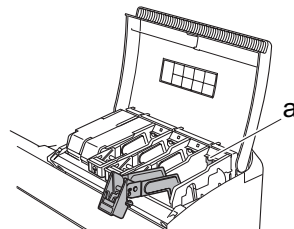
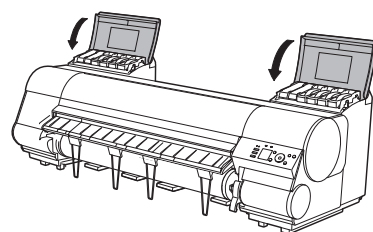
• [ﾚﾍﾞﾙ 2]、[ﾚﾍﾞﾙ 3] の場合
準備が完了すると、[ディスプレイ] に [インクタンクカバー] を開けるメッセージが表示されます。
インクタンクを取り出してから、プリンタを梱包してください。

重要
• 消耗部品の交換が必要な場合は、[ディスプレイ] に [消耗部品の交換が必要です。担当ｻｰﾋﾞｽにご相談ください。] と表示され、準備ができません。このメッセージが表示された場合は、[OK] キーを押して、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

インクタンクを取り外す

1 左右の [インクタンクカバー] を開きます。

2 [インクタンク固定レバー] のストッパー（a）を持ち上げて、[インクタンク固定レバー] を止まるところまで引き上げてから、手前に倒します。

3 取っ手（a）を持ってインクタンクを取り出します。

重要

- 取り出したインクタンクは、インク供給部（a）を上にして、梱包箱に入れて保管してください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

4 手順 2 ～ 3 を繰り返し、すべてのインクタンクを取り出します。

5 図の解除レバー（a）を押しながら、すべての [インクタンク固定レバー] を静かに元の位置に戻します。

6 [インクタンクカバー] を閉じます。

チューブ内のインクが吸引されます。

重要

- 吸引中はメンテナンスカートリッジを取り外さないでください。インクが漏れる可能性があります。

処理が終わると、[移動の準備が完了しました 。電源を切ってください] と表示されます。

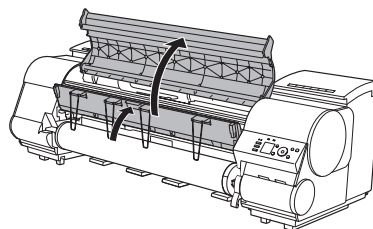
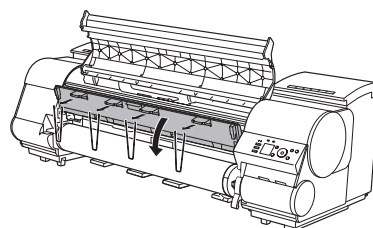
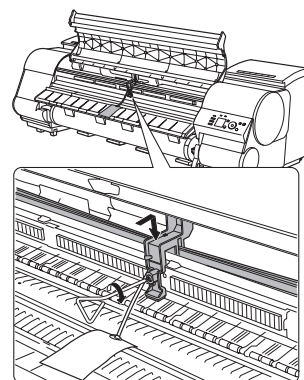
プリンタを梱包する

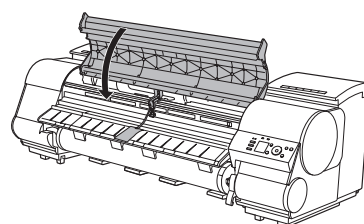
1 [電源] キーを押して、電源をオフにします。

重要

- 電源をオフにしてから電源コードを抜いてください。オフにする前に抜いてしまった場合は、そのまま輸送するとプリンタの故障の原因になります。電源コードとインクタンクを取り付けた後、最初からやり直してください。

2 電源コード、アース線、インタフェースケーブル、および [巻き取り装置用電源コネクタ] を取り外します。

3 [上カバー] を開き、[排紙ガイド] を上げます。

4 4 本の [排紙サポート] を取り外し、[排紙ガイド] を下げます。

5 [ベルト] をつまんで [ベルトストッパ] に挟み、図の位置に [ベルトストッパ] を六角ビスで固定します。

重要 ・[ベルトストッパ] は、開梱時に取り外して保管しておいたものを取り付けてください。[ベルトストッパ] を取り付けないと、故障の原因になります。

6 [上カバー] を閉じます。

7 開梱時と逆の手順でプリンタの各カバーをテープで固定します。

8 [バスケット] を取り付けている場合は、[バスケット] を取り付け時と逆の手順で取り外します。

9 プリンタ本体を取り付け時と逆の手順で [スタンド] から取り外します。

10 [スタンド] を、設置時と逆の手順で分解して梱包します。

11 [ロールホルダー]、[ホルダーストッパ]、プリンタなどに梱包材を取り付け、梱包箱に収納します。

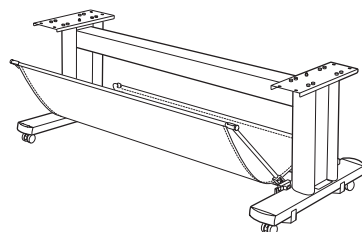
プリンタを再設置する

ここでは、プリンタの再設置の流れを簡単に説明します。
詳しい手順については、セットアップガイドを参照してください。

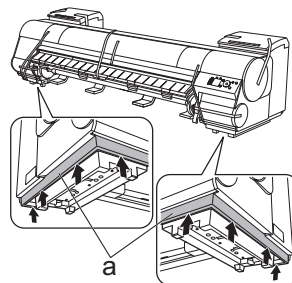
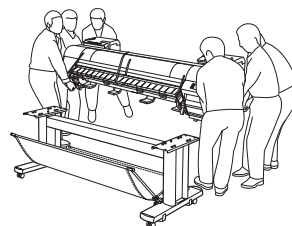
スタンドを組み立てる

注意

- [スタンド] は、必ず 2 人以上で、平らな場所を利用して組み立ててください。1 人で作業すると、けがの原因になったり、[スタンド] の歪みの原因になります。
- [スタンド] を組み立てる際は、キャスターをロックしてください。
また、組み立てた [スタンド] を移動するときは、必ずロックを解除してください。設置場所に傷が付いたり、けがの原因になります。

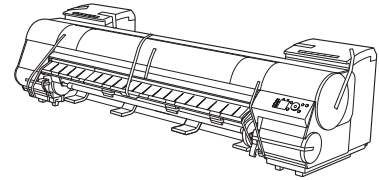
プリンタスタンドセットアップガイドを参照して、[スタンド] を組み立てます。

プリンタを設置する

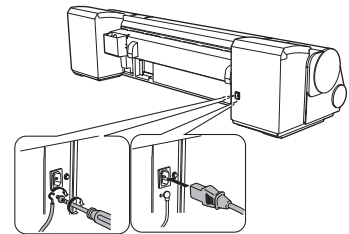
注意

- iPF8300S は、本体のみで約 111kg あります。プリンタを持ち運ぶときは、必ず 6 人以上で左右から持ち、腰などを痛めないようにしてください。
- プリンタを持ち運ぶときは、左右底面の [運搬用取っ手](a) をしっかりと持ってください。他の場所を持つと不安定になり、落としてけがをする場合があります。

組み立てた [スタンド] にプリンタを載せ、ビスでしっかりと固定します。

巻き取り装置を取り付ける（オプション）

[巻き取り装置] に同梱されているセットアップガイドを参照して、[巻き取り装置] を取り付けます。

梱包材を取り外す

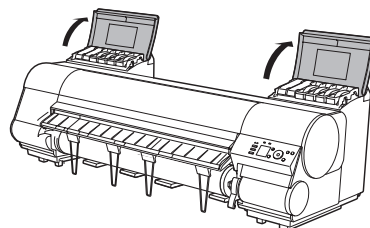
プリンタ本体に取り付けられているテープや梱包材を取り除きます。

電源コードとアースを接続する

プリンタ背面のアース端子に市販のドライバを使ってアース線のフック側を取り付け、反対側をアース端子に取り付けます。

電源コードをプリンタ背面の [電源コネクタ] に差し込み、反対側をコンセントに差し込みます。

電源を入れる

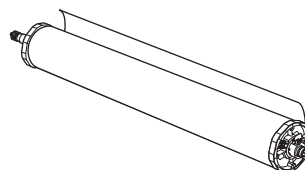
電源スイッチを押して、電源を入れます。

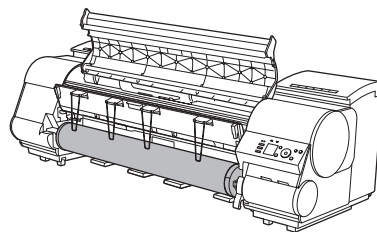
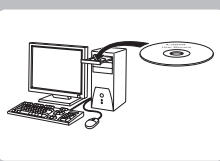
インクタンクを取り付ける

[インクタンクカバー] を開けて、インクタンクをセットします。

ソフトウェアと電子マニュアルをインストールする

ご使用の接続方法により、インストール手順が異なりますので注意してください。
（→3 ソフトウェアをインストールする（Windows））
（→3 ソフトウェアをインストールする（Mac OS X））

ロール紙にロールホルダーをセットする

ロール紙に [ロールホルダー] をセットします。
（→1 ロール紙にロールホルダーをセットする）

ロール紙をプリンタにセットする

ロール紙をプリンタにセットします。
(→ 1 ロール紙をプリンタにセットする)

ソフトウェアをインストールする（Windows）

ここでは、ソフトウェアのインストール方法を簡単に説明します。
詳しい手順については、セットアップガイドを参照してください。

対応しているOS

Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008、Windows Server 2003 R2、Windows Server 2003、Windows XP

メモ

- Windows OS は最新の Service Pack を適用してください。

使用できる接続方法

USB 接続、TCP/IP（ネットワーク）接続で使用できます。
ご使用の接続方法によって、インストール手順が異なります。
以下の説明に従ってソフトウェアと電子マニュアルをインストールしてください。

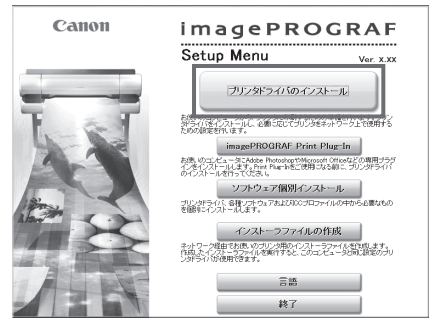
ソフトウェアと電子マニュアルをインストールする

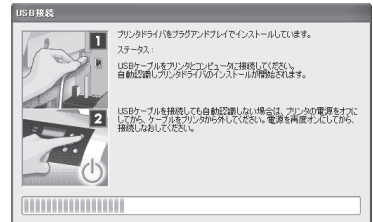
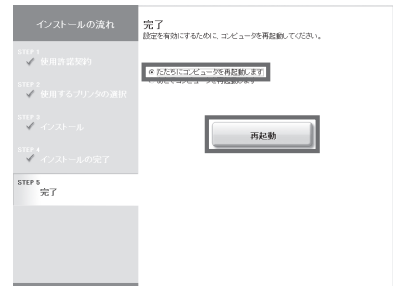
重要

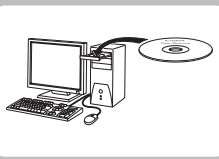
- USB 接続で使用する場合､USB ケーブルは､プリンタドライバのインストール中に表示される画面の指示に従って接続してください。
  先に USB ケーブルを接続すると、プリンタドライバが正しくインストールされない場合があります。
- TCP/IP(ネットワーク) 接続で使用する場合、プリンタを再設置したときにプリンタの IP アドレスが変更されることがあります。プリンタの IP アドレスが変更された場合は、必ずプリンタの IP アドレスを設定し直してください。

1 コンピュータの電源を入れます。
TCP/IP（ネットワーク）接続の場合は、プリンタの電源がオンになっていることを確認し、LAN ケーブルでプリンタ背面の Ethernet コネクタと HUB のポートを接続します。

2 お使いの OS に合った付属の User Software CD-ROM を、コンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。

3 画面の指示に従ってインストールを行います。

重要

- USB 接続の場合は、右のダイアログボックスが表示されたら、プリンタの電源がオンになっていることを確認し、USB ケーブルでプリンタとコンピュータを接続します。

4 [完了] ウィンドウで、[ただちにコンピュータを再起動します] を選択し、[再起動] をクリックします。
コンピュータの再起動後、ソフトウェアの設定が有効になります。

引き続き、電子マニュアルをインストールします。

5 [製品マニュアルのインストール] ダイアログボックスが表示されたら、付属の User Manuals CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットし、画面の指示に従って、インストールを行います。

ソフトウェアをインストールする（Mac OS X）

ここでは、ソフトウェアのインストール方法を簡単に説明します。
詳しい手順については、セットアップガイドを参照してください。

対応しているOS

Mac OS X 10.4.11 以降

使用できる接続方法

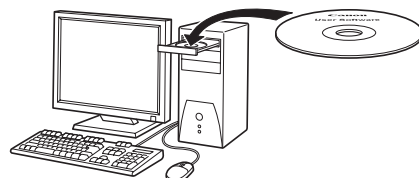
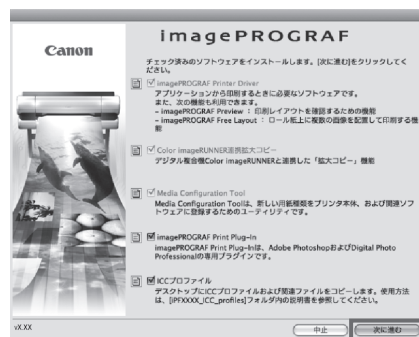
USB 接続、ネットワーク接続（Bonjour、IP）で使用できます。
以下の説明に従ってソフトウェアと電子マニュアルをインストールしてください。

ソフトウェアと電子マニュアルをインストールする

重要

- ネットワーク接続で使用する場合は、プリンタを再設置したときにプリンタの IP アドレスが変更されることがあります。プリンタの IP アドレスが変更された場合は､必ずプリンタの IP アドレスを設定し直してください。

1 コンピュータとプリンタがケーブルで接続されていないことを確認後、コンピュータの電源を入れます。

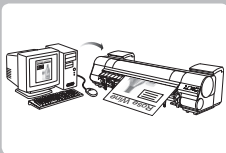
2 お使いの OS に合った付属の User Software CD-ROM を、コンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。

3 画面の指示に従ってインストールを行います。

4 インストールが完了したら、[終了] をクリックします。

これでソフトウェアのインストールは完了です。
続けて、プリンタとコンピュータを接続します。

5 プリンタの電源がオンになっていることを確認し、プリンタをコンピュータまたはネットワークにケーブルで接続します。

6 [次へ] をクリックし、画面の指示に従って、セットアップするプリンタを登録し、用紙情報の更新を行います。

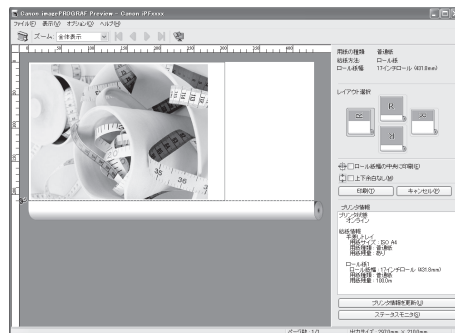
引き続き、電子マニュアルをインストールします。

7 付属の User Manuals CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットして、画面の指示に従って、インストールを行います。

プリンタドライバの便利な機能

ここでは、プリンタドライバの便利な機能を簡単に紹介します。
プリンタドライバの詳しい使い方については、ユーザーズガイドを参照してください。

印刷プレビュー

印刷プレビュー機能を使用することで、以下のことができます。

- 画像の印刷位置を、実際の用紙の上に配置したイメージで確認できます。
  印刷することなく、印刷結果のイメージを確認することで、印刷コストを抑えることができます。
- 用紙に合わせてレイアウト方向が変更できます。
  用紙上のレイアウト方向を適切に変更することで、用紙を節約できます。

OSごとの設定方法

Windows

- [基本設定] シートを表示します。
- [印刷時にプレビュー画面を表示] チェックボックスをオンにします。
  [情報] ダイアログボックスが開いたら、内容を確認してから [OK] をクリックして [情報] ダイアログボックスを閉じます。
- [OK] をクリックして印刷を実行すると、[imagePROGRAF Preview] のウィンドウが開きます。

メモ

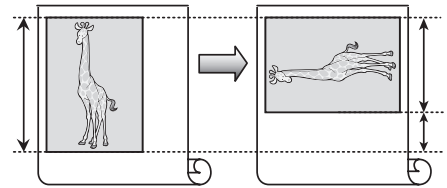
- 設定や環境によっては [PageComposer] が起動する場合があります。

Mac OS X

- アプリケーションソフトの [ファイル] メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[プリント] ダイアログボックスを開きます。
- [基本設定] パネルを表示します。
- [印刷プレビュー] チェックボックスをオンにします。
- [プリント] をクリックして印刷を実行すると [Canon imagePROGRAF Preview] のウィンドウが開きます。

ページを90度回転(用紙節約)

原稿に合わせた設定を行うことで、ロール紙を節約することができます。
縦長の原稿を印刷するとき、原稿の縦の長さがロール紙の幅に収まる場合、原稿を自動的に 90 度回転して印刷します。これにより、用紙を節約できます。

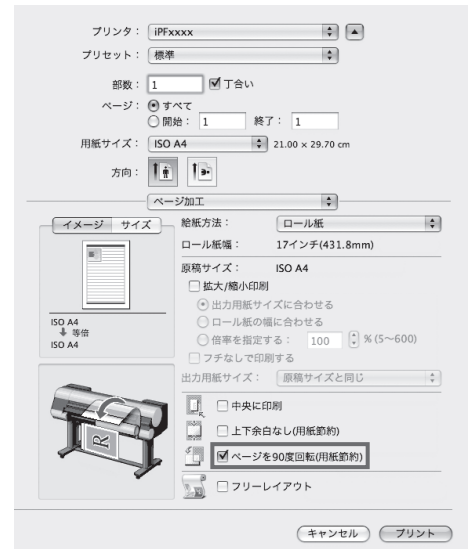
メモ

- 回転するとロール紙の幅に収まらない場合も、ロール紙の幅に合わせて拡大 / 縮小する機能を同時に使用すれば、ページを回転して印刷できます。

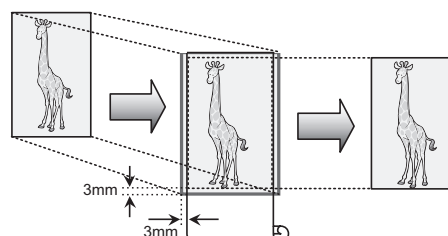
OSごとの設定方法

Windows

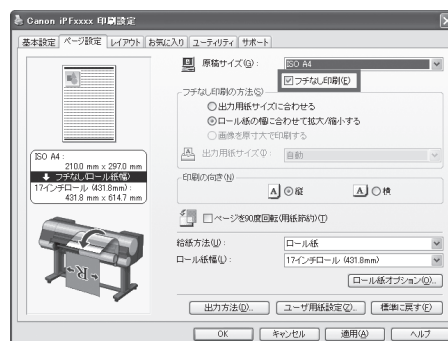
- [ページ設定] シートを表示します。
- [ページを 90 度回転 (用紙節約)] チェックボックスをオンにします。

Mac OS X

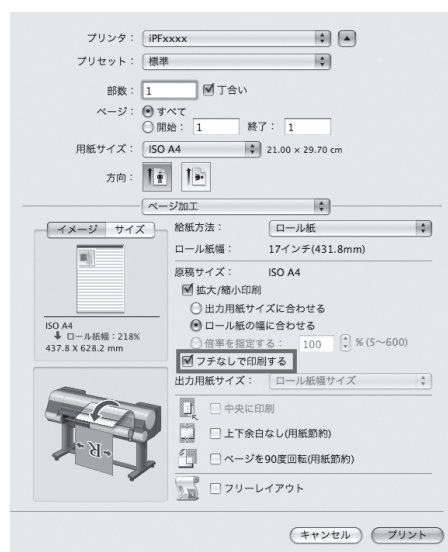
- [ページ加工] パネルを表示します。
- [ページを 90 度回転 (用紙節約)] チェックボックスをオンにします。

フチなし印刷

通常の印刷では、原稿の周囲にプリンタの動作に必要な余白が入ります。フチなし印刷では、原稿の周囲に余白を入れず、用紙の全面に印刷します。

OSごとの設定方法

Windows

- [ページ設定] シートを表示します。
- [フチなし印刷] チェックボックスをオンにし、[情報] ダイアログボックスを開きます。
- [ロール紙幅] の一覧から､プリンタにセットされているロール紙の幅をクリックします。
- [OK] をクリックし､[情報] ダイアログボックスを閉じます。
- [出力用紙サイズに合わせる]、[ロール紙の幅に合わせて拡大 / 縮小する]、[画像を原寸大で印刷する] のいずれかを選択します。

Mac OS X

- [ページ加工] パネルを表示します。
- [拡大 / 縮小印刷] チェックボックスをオンにします。
- [フチなしで印刷する] チェックボックスをオンにします。
- [出力用紙サイズに合わせる]、[ロール紙の幅に合わせる] のいずれかを選択します。

メモ

- プリンタにセットされている用紙のサイズが [原稿サイズ] と同じ場合は､[ページ属性] ダイアログボックスで、[用紙サイズ] から［XXXX- フチなし］（XXXX は原稿サイズ）を選択するとフチなし印刷ができます。（Mac OS X のみ）

長尺印刷

通常帯状の原稿をロール紙に印刷し、大きな垂れ幕や横断幕を作成できます。
Microsoft Word などのアプリケーションソフトで任意のサイズで作成した原稿を、プリンタドライバで簡単にロール紙の幅いっぱいに拡大できます。
このプリンタでは､最大 18.0 m の長さのロール紙に印刷できます。

OSごとの設定方法

Windows

- [ページ設定] シートを表示します。
- [ユーザ用紙設定] をクリックし、原稿のサイズを登録します。
- [拡大 / 縮小印刷] チェックボックスをオンにします。
- [ロール紙の幅に合わせる] をクリックし、[情報] ダイアログボックスを開きます。
- [ロール紙幅] の一覧から､プリンタにセットされているロール紙の幅をクリックし、[OK] をクリックします。

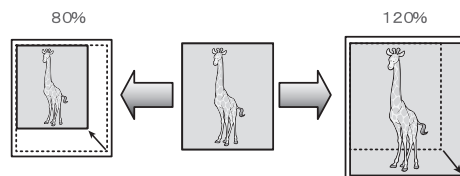
Mac OS X

- [ページ加工] パネルを表示します。
- [ロール紙幅] で、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されていることを確認します。
- [原稿サイズ] で、作成した原稿のサイズが表示されていることを確認します。

[カスタム用紙サイズ] を登録していない場合は、原稿のサイズをロール紙の幅に合わせます。

- [拡大 / 縮小印刷] チェックボックスをオンにします。
- [ロール紙の幅に合わせる] をクリックします。

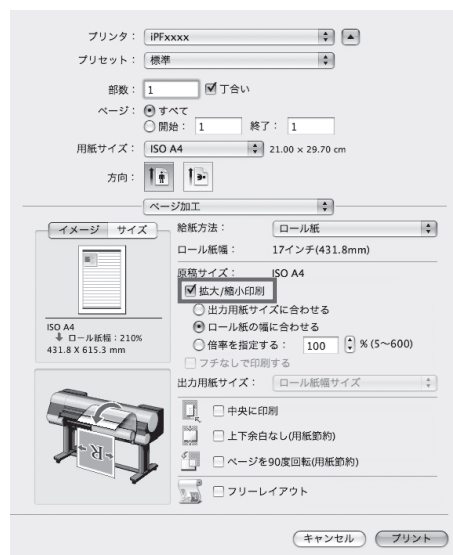
拡大/縮小印刷

原稿を大きく引き伸ばしたり、縮小したり、印刷するサイズを自由に調整できます。

OSごとの設定方法

Windows

- [ページ設定] シートを表示します。
- [ロール紙幅] の一覧から、プリンタにセットされているロール紙の幅をクリックします。
- [原稿サイズ] の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズをクリックします。
- [拡大 / 縮小印刷] チェックボックスをオンにします。
- [出力用紙サイズに合わせる]、[ロール紙の幅に合わせる]、[倍率を指定する] のいずれかを選択します。

Mac OS X

- [ページ加工] パネルを表示します。
- [ロール紙幅] で、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されていることを確認します。
- [原稿サイズ] で、作成した原稿のサイズが表示されていることを確認します。
- [拡大 / 縮小印刷] チェックボックスをオンにします。
- [出力用紙サイズに合わせる]、[ロール紙の幅に合わせる]、[倍率を指定する] のいずれかを選択します。

その他の印刷方法:Print Plug-Inから印刷する場合

Print Plug-In を使用すると、Adobe Photoshop や Digital Photo Professional から、直接プリンタに出力することができます。
Print Plug-In の主な特長は以下のとおりです。

- sRGB 用または Adobe RGB 等の画像の色空間を自動認識し､最適なプロファイルを自動的に設定できます。このため、面倒な設定をすることなく印刷が実現できます。
- Adobe Photoshop 上の画像データを直接加工し、プリンタに画像データを転送することができます。これにより、8bit だけでなく 16bit の画像データを処理することができます。
- 黒点補正を行うことにより、暗部の階調の潰れを軽減することができます。
- 印刷機のプロファイルを指定して、印刷機のシミュレーション印刷を行うことができます。

メモ

- Print Plug-In の詳細については、ユーザーズガイドを参照してください。
- プラグインには、Microsoft Office から簡単に大判プリントを行うための Print Plug-In for Office もあります。詳しい使用方法についてはユーザーズガイドを参照してください。

起動方法

Adobe Photoshop

- Adobe Photoshop を起動します。
- 印刷したい画像を開きます。
- 必要に応じて印刷する範囲を選択します。
- [ファイル] メニューから [書き出し]（または [データ書き出し]）を選択して、ご使用のプリンタに合った出力プラグインを選択します。
  [imagePROGRAF Print Plug-In for Photoshop] ウィンドウが表示されます。

Digital Photo Professional

- Digital Photo Professional を起動します。
- 印刷したい RGB カラーの画像を開きます。
- 必要に応じて印刷する範囲を選択します。
- [ファイル] メニューから [プラグイン印刷] を選択して、ご使用のプリンタに合った出力プラグインを選択します。
  [imagePROGRAF Print Plug-In for Digital Photo Professional] ウィンドウが表示されます。

索引